

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 10 月 22 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (10/22 11:00 時点)

| 号機 | 注水状況 | | 原子炉压力容器 下部温度 | 原子炉格納容器 圧力* | 原子炉格納容器 水素濃度 |
|-----|-----------|---------------------------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 1号機 | 淡水 注入中 | 炉心スプレイ系：約 1.9 m ³ /h | 32.5 | 107.2 kPa abs | A系： 0.00 vol% |
| | | 給水系：約 2.8 m ³ /h | | | B系： 0.00 vol% |
| 2号機 | 淡水 注入中 | 炉心スプレイ系：約 4.4 m ³ /h | 45.1 | 4.47 kPa g | A系： 0.05 vol% |
| | | 給水系：約 1.9 m ³ /h | | | B系： 0.06 vol% |
| 3号機 | 淡水 注入中 | 炉心スプレイ系：約 4.5 m ³ /h | 44.9 | 0.21 kPa g | A系： 0.21 vol% |
| | | 給水系：約 2.0 m ³ /h | | | B系： 0.19 vol% |

*絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

- 【1号機】・10/20 10:54 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.6m³/hから約 3.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 1.9m³/hから約 2.0m³/hに調整。
 ・10/21 15:29 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.7m³/hから約 3.0m³/hに調整、炉心スプレイ系からの注水量は約 2.0m³/hで継続。
- 【2号機】・10/21 15:29 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.8m³/hから約 2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.3m³/hから約 4.5m³/hに調整。
- 【3号機】・10/20 15:55 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 1.8m³/hから約 2.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 4.3m³/hから約 4.5m³/hに調整。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (10/22 11:00 時点)

| 号機 | 冷却方法 | 冷却状況 | 使用済燃料プール水温度 |
|-----|----------|------|-------------|
| 1号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 22.5 |
| 2号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 24.6 |
| 3号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 20.0 |
| 4号機 | 循環冷却システム | 停止中 | 29 |

*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

- 【2号機】・10/15 6:07 使用済燃料プール代替冷却系において、弁追設および逆止弁点検、ドレン配管の設置作業を行うため、使用済燃料プールの冷却を停止。
 ・10/19 16:46 作業が終了したことから、使用済燃料プール代替冷却系を起動。プール温度は冷却停止期間中に約 23.0℃から約 36.3℃まで上昇したが、運転上の制限値 65℃に対して余裕があり、プール水温度管理上、問題はない。
- 【4号機】・10/22 9:36 使用済燃料プール代替冷却系において、二次系配管のポリエチレン管への交換作業を行うため、使用済燃料プールの二次系を停止。
 なお、停止時のプール水温度は約 29.0℃で、停止中のプール水温度上昇率については約 0.43℃/h、停止中のプール水温上昇は約 23.8℃と評価しており、運転上の制限値 65℃に対して十分余裕があり、プール水温度管理上、問題ない。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

| 号機 | 排出元 → | 移送先 | 移送状況 |
|-----|-----------|--|-------------------------------|
| 1号機 | 1号機タービン建屋 | → 2号機タービン建屋 | 10/20 10:10 ~ 10/21 9:00 移送実施 |
| 2号機 | 2号機タービン建屋 | → 3号機タービン建屋 | 10/16 10:14 ~ 10/21 9:18 移送実施 |
| 3号機 | 3号機タービン建屋 | → 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)] | 10/15 18:05 ~ 移送実施中 |
| 4号機 | 4号機タービン建屋 | → 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)] | 10/15 11:55 ~ 10/21 9:42 移送実施 |

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (10/22 7:00 時点)

| 設備 | セシウム吸着装置 | 第二セシウム吸着装置 (サリー) | 除染装置 | 淡水化装置 (逆浸透膜) | 淡水化装置 (蒸発濃縮) |
|------|----------|------------------|------|--------------|--------------|
| 運転状況 | 停止中 | 運転中* | 停止中 | 水バランスをみて断続運転 | 水バランスをみて断続運転 |

* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/3/6～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H24/10/22 12:15 頃、協力企業作業員が共用プール建屋3階にて、消火系配管からの水漏れを発見。漏えいした水はろ過水で、弁閉操作およびポンプを停止したところ、漏えいは停止。
なお、漏えい箇所は同建屋3階消火栓の吐出弁であることを確認。漏えいした水は、堰内に留まっており、漏えい量は約 65 リットルと評価。

以 上